

第 2 回
国体・障害者スポーツ大会推進協議会
資料

茨城県議会事務局

令和元年 9 月 1 0 日 (火)

(案)

天皇陛下御即位記念

「いきいき茨城ゆめ国体2019」・「いきいき茨城ゆめ大会2019」の 成功に向けた決意表明

いよいよ「いきいき茨城ゆめ国体2019」が9月28日に、「いきいき茨城ゆめ大会2019」が10月12日に開催される。

本県で45年ぶりとなる国民体育大会並びに本県初となる全国障害者スポーツ大会の開催にあたっては、これまで「いばらきの魅力」を全国に発信する絶好の機会として、県民一人一人が郷土に誇りをもち、創意工夫を凝らした大会となるよう、県や市町村、競技団体等、そして県民が一体となって、両大会の開催準備や、来県者を迎え入れる体制の整備と機運醸成などに取り組んできた。

県議会においても、平成28年に国体・障害者スポーツ大会推進調査特別委員会を設置し、およそ2年半にわたる調査・検討を行い、両大会の成功等に向けた施策の基本方向を取りまとめ、知事はじめ執行部に対し提言を行ったところである。

さらに、本年は、全議員からなる国体・障害者スポーツ大会推進協議会を設置し、県議会及び議員の行動指針を定め、国体に関連した初の全国大会となるeスポーツをはじめとした文化プログラム、デモンストレーションスポーツ、各種イベントに参加するなど、議員自ら率先して両大会の機運醸成と成功に向けた活動を進めてきた。

国体については、本年1月に冬季競技が開催され、茨城県は男女総合、女子総合ともに全国3位となり、中長期的な競技力向上の成果が形となって現れるなど、天皇杯、皇后杯獲得に向けて大きな弾みとなっている。夏季競技においても既に一部の会期前競技が始まっており、きたる本大会の開催に向け一層の盛り上がり期待される。

全国障害者スポーツ大会については、競技やイベント等を通して、障害のある人もない人も全ての参加者が可能性にチャレンジし、思いやりの心や感動と希望を共有できる大会を目指し取り組みを進めてきた。今大会における様々な取り組みを契機に、誰もが互いに助け合い幸せに暮らせる「共生社会」づくりを、この茨城から発信するため、大会を大いに盛り上げていかなければならない。

また、両大会の成功に向けた取り組みにととまらず、来年は東京オリンピックのサッカー競技が本県で開催されることなどを踏まえ、両大会の成果が、将来にわたって本県スポーツの振興、観光や地域の活性化に活かされるよう、大会後を見据えた取り組みにも努めていく必要がある。

晴れやかなる令和元年、両大会には「天皇陛下御即位記念」の冠称が付与され、御即位された天皇陛下をお迎えする初めての大会となる。両大会のスローガン「翔べ 羽ばたけ そして未来へ」のとおり新たな時代にふさわしい大会となるよう、茨城県議会は、両大会の成功と、本県の更なる飛躍に向け、県民とともに全力で取り組むことを表明し、本協議会の決意表明とする。

令和元年9月 日

茨城県議会 国体・障害者スポーツ大会推進協議会

国体・障害者スポーツ大会推進協議会の概要

- 1 設 置 日 平成31年3月25日

- 2 設置根拠 茨城県議会規則第126条第4項（協議又は調整を行うための場）

- 3 設置趣旨
茨城国体，全国障害者スポーツ大会の成功に向けて，県議会が率先して取組等を推進していく必要があることから，その取組等について協議等を行うための場として設置する。

- 4 構成員等 全議員（会長：議長）

- 5 協議項目
 - (1) 両大会の成功に向けた県議会における取組
活動方針の検討・決定
両大会への参加促進
 - (2) 両大会に関する情報の共有
 - (3) 両大会関係者からの意見聴取

国体・障害者スポーツ大会推進協議会 活動計画

回数	開催時期	協議会の内容
第1回	6月13日(木) <2定会期中>	<p>第1回協議会</p> <p>1 両大会に関する情報の共有 (1) 競技・イベント等の概要及び会場，開催期日等の説明 ・両大会の開閉会式，実施競技，リハーサル大会の概要及び会場，開催期日 ・関連イベント，デモンストレーションスポーツ，文化プログラムの概要及び会場，開催期日</p> <p>2 両大会の成功に向けた県議会における取組 (1) 両大会の成功に向けた行動指針案の検討・決定 ・基本的な考え方 ・県議会及び議員の活動指針 (2) 両大会への参加促進</p> <p>3 その他</p>
第2回	9月10(火) <3定会期中>	<p>第2回協議会</p> <p>1 両大会に関する情報の共有 (1) 両大会の開閉会式の説明等 (2) 両大会への参加促進</p> <p>2 その他</p>
第3回	12月 <4定会期中>	<p>第3回協議会</p> <p>1 両大会の結果等について</p> <p>2 両大会関係者からの意見・感想等について ・選手（成年・少年・障害者の各1名） ・ボランティア（一般・高校生の各1名）</p> <p>3 その他意見交換 など</p>

茨城県議会議員
「いきいき茨城ゆめ国体」・「いきいき茨城ゆめ大会」
の成功に向けた行動指針

1 基本的な考え方

今年、本県で45年ぶりとなる国民体育大会「いきいき茨城ゆめ国体」が、そして本県初となる全国障害者スポーツ大会「いきいき茨城ゆめ大会」が開催される。

両大会は本県のスポーツ振興と文化の発展に寄与するとともに、本県の魅力を全国に発信する絶好の機会であり、本県の総力を挙げて臨む必要がある。

これまで県議会では、平成28年に国体・障害者スポーツ大会推進調査特別委員会を設置し、およそ2年半にわたる調査・検討を行い、両大会の成功等に向けた施策の基本方向を取りまとめるとともに、知事はじめ執行部に対し提言を行ったところである。

いよいよ両大会の開催が迫る中、県議会及び議員は自らも様々な活動等を通じて競技、イベント、文化プログラム等の両大会に関する情報発信を積極的に行っていくほか、本県の魅力を広く発信していくとともに、来県される方々に対して心のこもった「おもてなし」に努めるなど、両大会の成功に向けて、県民の先頭に立ち率先して取り組みを推進していかなければならない。

以上の基本的な考え方にに基づき、両大会の成功に向けた県議会及び議員の活動指針を定める。

2 県議会及び議員の行動指針

一．両大会の普及啓発

あらゆる活動を通じて、本県における両大会開催の認知度向上に努め、県民総参加の機運醸成を図ること

一．両大会への参加

炬火イベントをはじめとした、両大会に関するイベントへの参加や競技等の応援・選手の激励など、県民の先頭に立って両大会の盛り上げに努めること

一．来県者へのおもてなし

選手や役員、観覧者などの来県者を心のこもった温かいおもてなしで迎えるよう、県民一体となったおもてなしに努めること

一．スポーツの推進

競技や障害者スポーツの紹介、デモンストレーションスポーツなどへの参加などを通じて、県民のスポーツに対する意欲や関心を高め、本県スポーツ文化の振興に努めること

一．茨城県の魅力発信

両大会を機に、観光や文化、県産品、農林水産物など本県が誇る多彩な地域資源を積極的に発信すること